

東日本大震災

名古屋って、あったかくて
いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、
でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

平成30年8月25日発行 (第98号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日 9~17時)

FAX: 052-917-0702

Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



30℃を超える日が続いていますが、それでも異常な暑さが少し和らいできました。甲子園も終わり、子どもさんの夏休みも終わり、いよいよ秋の気配にホッとしつつも、ちょっと淋しい気もしますね。

秋の夜長には月を眺めては...

今年の「中秋の名月」は、9月24日です。中秋の名月とは、旧暦8月15日の夜に見える月のことで、この月を愛でる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。中秋の頃は、秋晴れに恵まれ大気の澄んだ季節となり、月がとても美しく見えるため風雅に月を愛でていましたが、後に作物の収穫祭と結びつき、豊かな実りの象徴として、お供え物をして感謝や祈りを捧げるようになりました。

お月見につきものなのは、月見だんご!ですよね。ただ、当初は収穫を祝う行事でもあるため、サトイモなどの芋類や豆類をお供えしていましたが、米を使ったお団子も登場し、この丸い形は月に似せて作ったそうです。

また、行かれたことのある方も多いかも知れませんが、「名古屋市科学館」にあるプラネタリウムでも、季節の星やさまざまな天文学の話題を楽しむことができます。

そして、プラネタリウムでの講座の後、大望遠鏡のある「天文台」や屋上テラス「星のひろば」で、その時々の見頃の天体を見られる「市民観望会」(夜間・事前申込制)や青空の中の星を楽しめる「昼間の星をみる会」(入館者対象・自由参加)など、様々な企画が行われています。

※ 日程などの詳細は、「名古屋市科学館」のホームページをご覧ください。

→ <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

月に心を寄せて豊かな気持ちで過ごしたり、お供えのお団子を楽しむなど、秋の夜長を楽しんだり、世界最大規模のプラネタリウムで星を楽しむなど、秋は、遠い月や星を楽しむのはいかがでしょうか?



いずれも、被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:平成30年9月4日・11日、10月9日・23日
全て火曜日 10時15分~12時

会場:名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室
(北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ

材料費:1回500円~(実費相当)

寺子屋 NIT!

名工大の現役大学生による学習支援

日時:平成30年9月10日(月) ※9月は1回のみ
10月15日(月)・26日(金)

17時30分~(1時間半程度) 正門前集合

会場:名古屋工業大学
(昭和区御器所町、最寄り駅:鶴舞)

内容:学校の宿題やドリル、テスト範囲の勉強など
筆記用具は各自準備

月2回に
パワーアップ!

